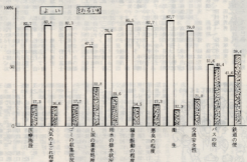


満足できる
環境

「改善に關してあなたの周辺はいかがですか。」「お宅をとりまく生活環境について。」「交通の便について。」「回答を、たいへんよい、よい、ふつうを、よいにあまりよくない、わるい、たいへんわるいを、わるい」といわけグラフにあらわしてみました。

調査項目はほとんどが、「よい」「わるい」を大幅に上まわっていました。「わるい」が多いのは鉄道、バスの交通の便の項目だけで、比較的住みやすい環境であるといえるでしょう。

では、福島、新築地区に居住者がいない、大気の問題は、自動車の排気ガスやばい煙によるもの、ゴミの収集状況では、収集回数が少ない、捨て場所が遠いこと、ゴミの業者側では、業者の数が少ないので依頼してもなかなか来てくれない、雨水排水では、道路から浸入してくる、騒音・振動では、交通量と関係のある事業では、騒音では、動物の臭気、衛生では、ゴミの収集やゴミの不完全処理、交通の安全では、道路が狭い、路上駐車が多い、などが多数を占めています。



生活は苦しく
なっている

「二一、二二年に比べ、お宅のくらしむきはどうか変化しましたか。」

お宅が苦しい……一・一八％
あまり変わらない……五一・二％
低下している……二七・〇％
低下しているが、ゆとりが出た……二六・六％
お宅を大幅に上まわっているのは、インフレによる物価の上昇が原因になっているのではないかと。

住居の種類と将来の希望

住居の種類は、持ち家が四〇・三％、町営住宅四二・二％、借家三二・五％等となっている。また、これからのことについては、その場所に住み続けたいが六〇・六％、できれば引越したいが一八・八％、ぜひ引越したいが三・八％、不明八・八％となっている。住み続けたいは、持ち家の人に多く、引越したいは、町営住宅等借りている人に多くみられます。



川をたいせつに

台風十六号は甘楽町の山河に大きな被害をもたらしました。この災害をより大きくしたのは川や沢から石を取りあげたこと、ゴミを捨てて堤防の上までさらせて、自然を破壊してしまったからといわれます。

川や沢の石は、河床や河岸を守り、ひいては、山河の裏側から自然を守るという大きな役割をもっているのです。そのために、むかしは川の石を取ったり、ゴミを捨てたりすると、木神様のおごたると、といって川を大切にすることを、長い間、このようにむかしから、長い間みなさんに大事に守られてきたのです。



川や沢の石を取ったり、ゴミを捨てたりした場合は、河川法によって罰せられます。このようなことのないように、また、美しい自然をつくるために協力ください。